

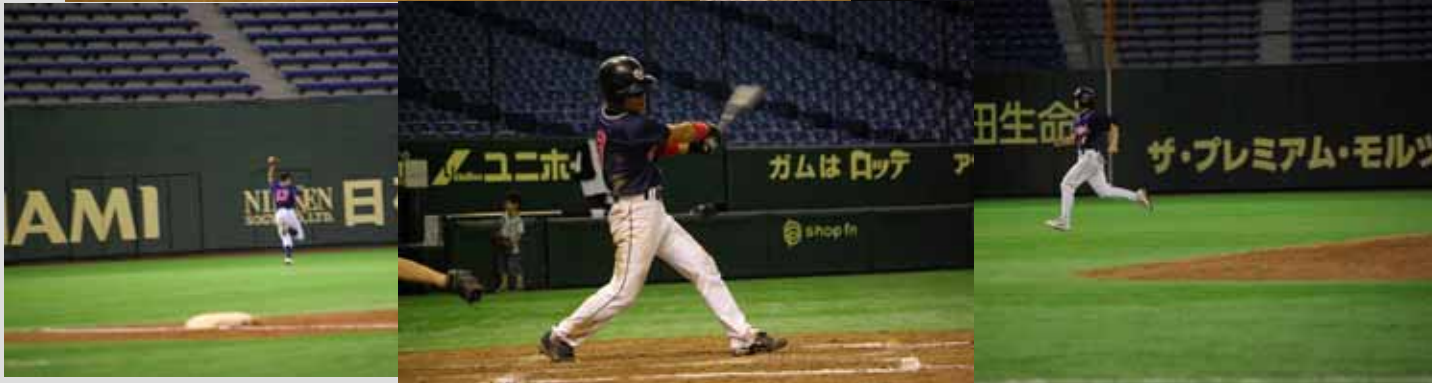
ゴーヘッドズ 速報

Goaheads

第12号 平成20年 7月28日

東京ドーム初勝利 シロチームを救うファインプレー 富澤腰を庇いながらも好走塁

お見事牧野！今期最高3塁踏ませず完封！！！！



7月27日二度目のKUSA1大会にエントリーし、深夜の東京ドームを訪れた。今日の相手はパワーズ、東京のチームである事のみ知り、後は相手実力は未知数で開幕した。先発はこのゲームを楽しみにしていた今期3試合目の牧野、好投をしながら勝利のツキが無いだけに、今日は真価を問うピッチングになるだろう！今日の我が方は後攻、相手チームの攻撃により、幕を開けた。先頭打者に四球、三振か四球かのいつものピッチングかとナインが思った矢先、後続をエラーで出すものの3三振にしとめ、上々の立ち上がりを見せた。終わって見れば、四球1、11奪三振、2安打、3塁踏ませずは今期1の素晴らしい出来であった。その好投を支えたのは、サヨナラを迎える6回表の相手打線、2アウトを取った後の打者、当たりは痛烈に左中間へ、誰もが2ベースを予感した打球は、レフトジローの好守備により、0点に抑えた。本人曰く「取れるか分からなかったけど、手を伸ばした」との言葉とおり、スッポリと打球はグラブに収まっていた。そして最終回の我が打線、先頭中富は三振に倒れるも、続く富澤が9球を粘り、四球を選んだ。続く深沢は、セカンド強襲のヒット、この打球の間に腰を痛めている富澤が爆走、一挙3塁まで進んだ。チームベンチの盛り上がりは最高潮、続く竜は1打席目にクリーンな左中間2ベースを放っているだけに、誰もがそのバットに注目した。3球目フラッと上がった打球はショートの後方、皆が見つめる打球はポトリと落ちた。その落ちた事を確認した富澤は、ホームベースを踏み、サヨナラ勝ちとなった。相手チームの好投もあり、9三振を喫した我がチームで有ったが、最終回はジローの好手が呼び込んできた、何かが降りてきた勝利のように感じた。チーム一丸とはこの事！非常に良いゲームであった。